

吾平地域市民講座 開講式を開催



5月11日、吾平振興会館で吾平地域市民講座の開講式が行われました。

平成20年度は、260人の申込みがあり、当日の開講式には多数の受講生が出席。「ソフトテニス」や「太極拳」などスポーツ講座が6講座、「やさしい韓国語」や「陶芸」など文化講座が13講座と内容も年々充実しており、吾平地域の文化の高揚に貢献しています。

鹿屋日本一早い初出荷 ～新テッポウユリ～



5月26日、川東町で、新テッポウユリ「おごじょりりー」の初荷出発式が行われました。

このユリは、鹿屋の独自ブランドとして平成5年に品種登録され、現在、生産農家8戸で140アールを栽培。今年度は35万本を出荷目標としており、当日は、関係者が見守るなか、初荷5,000本を積んだトラックが大阪・名古屋の市場に向けて出発していきました。

輝土砂災害・全国統一 防災訓練を実施



6月1日、輝北町上百引で、「土砂災害・全国統一防災訓練」が行われました。

これは、地域住民の土砂災害に対する防災意識の高揚などを図るため、全国で一斉に防災訓練を実施したもので、当日は地域住民や消防団員など約60人が参加。参加者は、土砂災害が発生した場合を想定しながら、真剣な眼差しで避難訓練などを行っていました。

鹿屋 ばらを使った特産品 「かのやばらジャム」を販売開始



市の生活改善グループ「鹿屋市生活改善農産加工班」が、「ばらジャム」を開発し、販売が始まりました。

これは、塩ゆで落花生の「ふたごちゃん」を開発した同グループが、かのやばら園の無農薬栽培の「ばら」を使ったジャムを開発できないかと考え、2年間試行錯誤を重ねた結果、ようやく完成し今回販売にこぎつけたもの。「ロサ・ダマツセナ」という食用のばらを使用しており、ばらの上品な香りが楽しめるほか、花びらがそのままの形で入っているのが特徴です。

現在、かのやばら園売店、市観光物産総合センター、リナシティかのやで、1個650円で販売しています。

吾平高値取引を期待してかぼちゃに はさみ入れ



5月9日、吾平町麓の中央西地区ふれあい農園で、「春かぼちゃのはさみ入れ式」が行われました。

吾平地区のかぼちゃは、化学肥料不使用栽培で、J A 鹿児島県経済連のエコ農産物として認証を受けています。式には、生産者や関係者など約40人が出席し、ハウス内に実った直径約20cm、重さ約2kgの春かぼちゃを、高値で取引されることを期待しながら、一つひとつ丁寧に、はさみを入れ収穫しました。

収穫は7月中旬までつづき、7割が東京に、3割が京都に出荷されます。